

足立区生涯学習関連施設指定管理者総合評価シート

施設名：足立区文化芸術劇場(シアター1010)

指定管理者名：共立・キョードー東京・大星ビル管理共同事業体

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. 文化芸術劇場における事業	36	36	34
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		8
4. 会計事務	12	12	12
5. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
6. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		20
合計	157		152

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

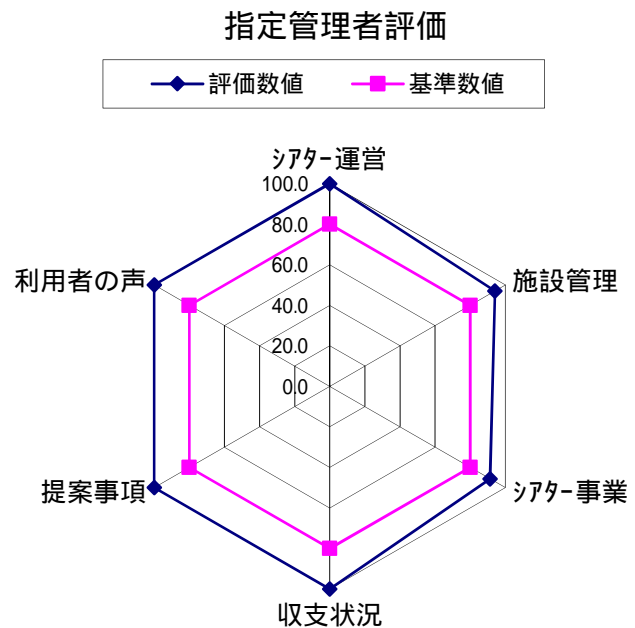
評価点(100点満点)
(評価委員会得点合計 ÷
配点合計 × 100)

96

総合評価
(A・B・C)

A+

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月12日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設指定管理者項目別評価表

施設名: 足立区文化芸術劇場(シアター1010)

項目		指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 27年度行動方針「& More Synergy 27」協働でシナジー効果を上げよう」を職員に徹底。施設の運営のみならず、千住ミルデイスを核にした北千住駅前活性化企画や、区と連携した文化振興を支援・協力。新しい形の運営・サービスを一歩進められたと自己評価いたします。	得点	30	【所見】 ギャラリー、アトリエが約2ヶ月の改修で休館期間があったため、年間の利用者数は前年比約5000人減となったが、ギャラリー、アトリエの月平均利用者数分(約10,000人)を鑑みると、前年並み以上の推移であったといえる。他施設の貸出では、稽古場1の利用率が前年比11%増となるなど、全体での補完ができています。	得点
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 美観、省エネ、安全対策ともに今年度も実施。また広い意味での安全対策と云う観点で、災害時の避難経路マップも作成。3年後の大改修までの施設維持を、着実に進めていると自己評価いたします。	得点	15	【所見】 業者による電気錠操作盤の点検作業後に、施設内の一部で開錠が発見された。被害が発生しなかった事例ではあったが、作業後の確認がされず、開錠を防止できなかった点を減点とした。	得点
3. 文化芸術劇場における事業 配点 36 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 今年度も、新しい企画の公演を数々実施。レギュラー化している一流演者出演の公演と併せ、クオリティの高い公演をラインナップ出来たと思います。それにより会員数も大幅にアップ。劇場ブランディングにも寄与出来たと自己評価いたします。	得点	34	【所見】 一流の演者による演目、集客に話題性のある演目を選定し、実施しているものと評価するが、劇場利用者数および文化事業入場者数は前年比減のため減点とした。 友の会会員数が過去最多となったことは評価できるが、前年度、会費値下げによる会員増を評価したため、今年度は点数を計上しない。	得点
4. 会計事務 配点 12	【所見】 消費税への更なる対応対策。またギャラリー・アトリエの改修工事による2ヶ月以上の貸し出し停止と、収入に影響する幾つかの事態が有りましたが、何とか今年度も黒字決算。安定的な会計事務を進めていると自己評価いたします。	得点	12	【所見】 適切な事務処理がされている。また、会計関係の書類も適切に管理されている。 今年度はギャラリー、アトリエの約2ヶ月の休館により、施設利用料は1000万円以上の減ではあったが、プラス収支となった。年度当初に全体の収支を想定し、経費削減を行うなど経営努力によるものと評価する。	得点
5. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 事業計画・提案書内容は勿論達成しておりますが、他に各公演元やご利用者からの、施設利用のご要望も大幅にアップ。ここ数年に渡り実施している、ブランドプロモーション効果が着実に上がっていると自己評価いたします。	得点	12	【所見】 シアター1010のニーズと動向にあわせてさまざまに展開している。特に、区の文化振興施策への協力として、えんチャレ登録アーティストへの支援は、指定管理者ならではのネットワークを活かし、施設外での運営にも力を入れたものである。次年度以降のさらなる連携が期待できる	得点
6. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 ご利用者の声は、通常のアンケートに留まらず、懇話会や各公演元からの声も集約。また本社サイドでの業界情報も加味して各企画に利用。今年度も早い対応が出来たと自己評価いたします。	得点	18	苦情が発生した場合の内部での対応体制が整っている。利用者からの意見に対し、内部での問題意識が共有され、ホームページ上での回答公表など外部への発信ができています。	得点
				得点合計	152